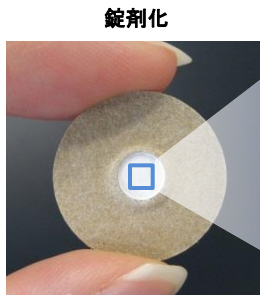


## ラマン分光光度計によるマッピング

医薬品中の薬効成分の分散状態を測定したい場合、Tablet Masterを用い、錠剤成形することで測定が可能です。測定したい粉末をそのまま錠剤化し、その面をマッピング測定することにより、粉末中の成分分布を調べることができます。

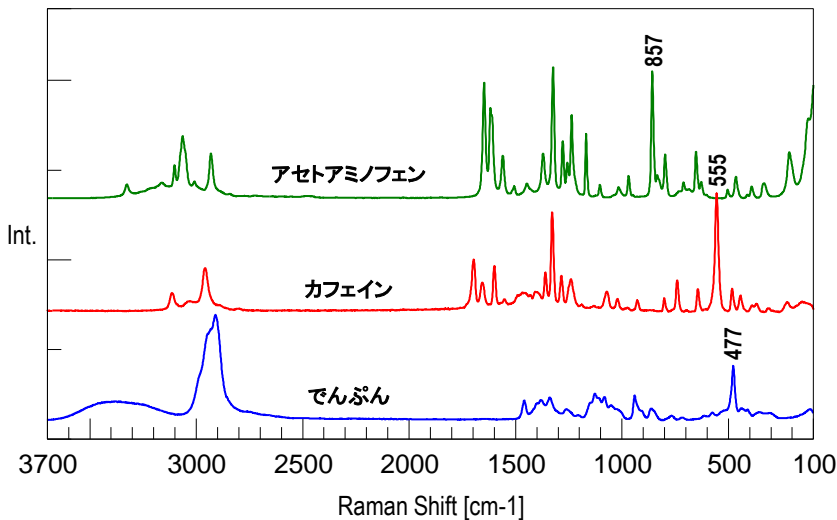
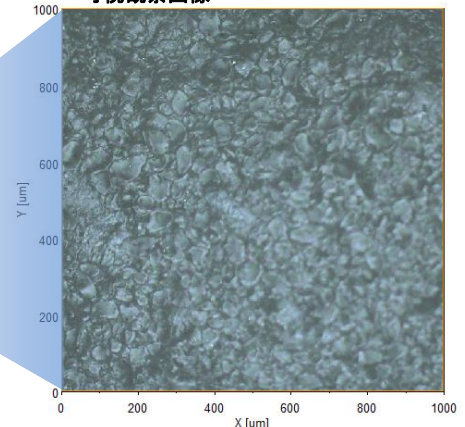


Press!

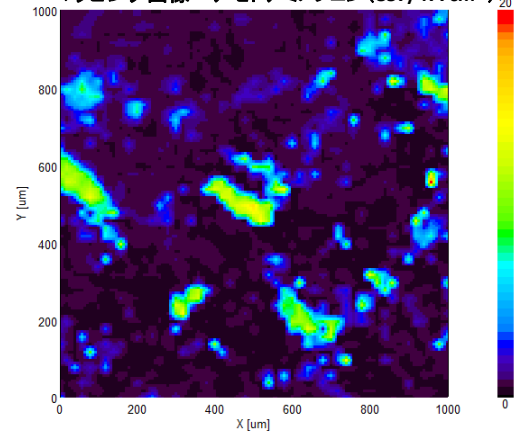


注：粉末の粘性によっては錠剤化できないものもあります。

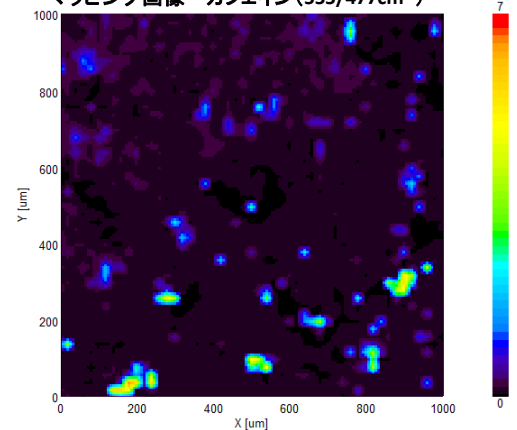
可視観察画像



マッピング画像－アセトアミノフェン(857/477cm<sup>-1</sup>)



マッピング画像－カフェイン(555/477cm<sup>-1</sup>)



### Condition

× 20対物レンズ, 励起波長532nm, 出力8.5mW, 減光器オープン  
2回積算, 2s露光, NRS-5100  
ClearDisk(Φ5)

### Master's Memo

- KBr錠剤法同様、試料は山盛り程度に詰めて表面をならします。
- 錠剤化することでフォーカス合わせが容易になります。